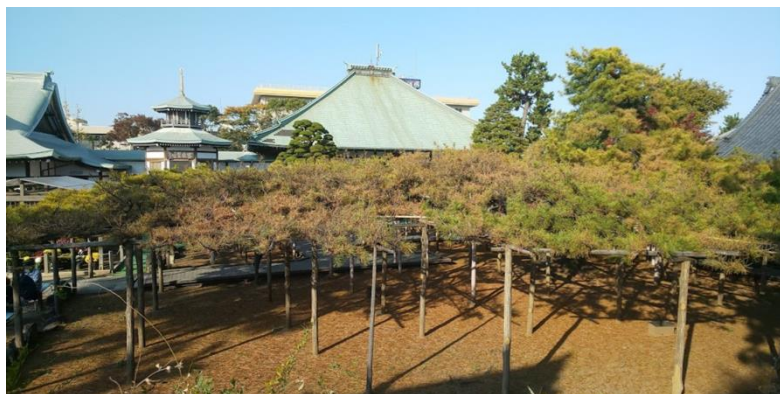
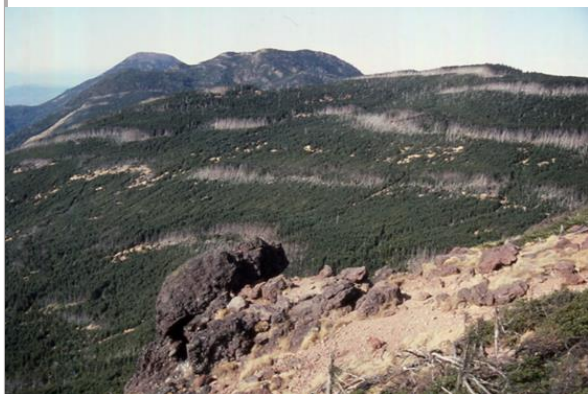
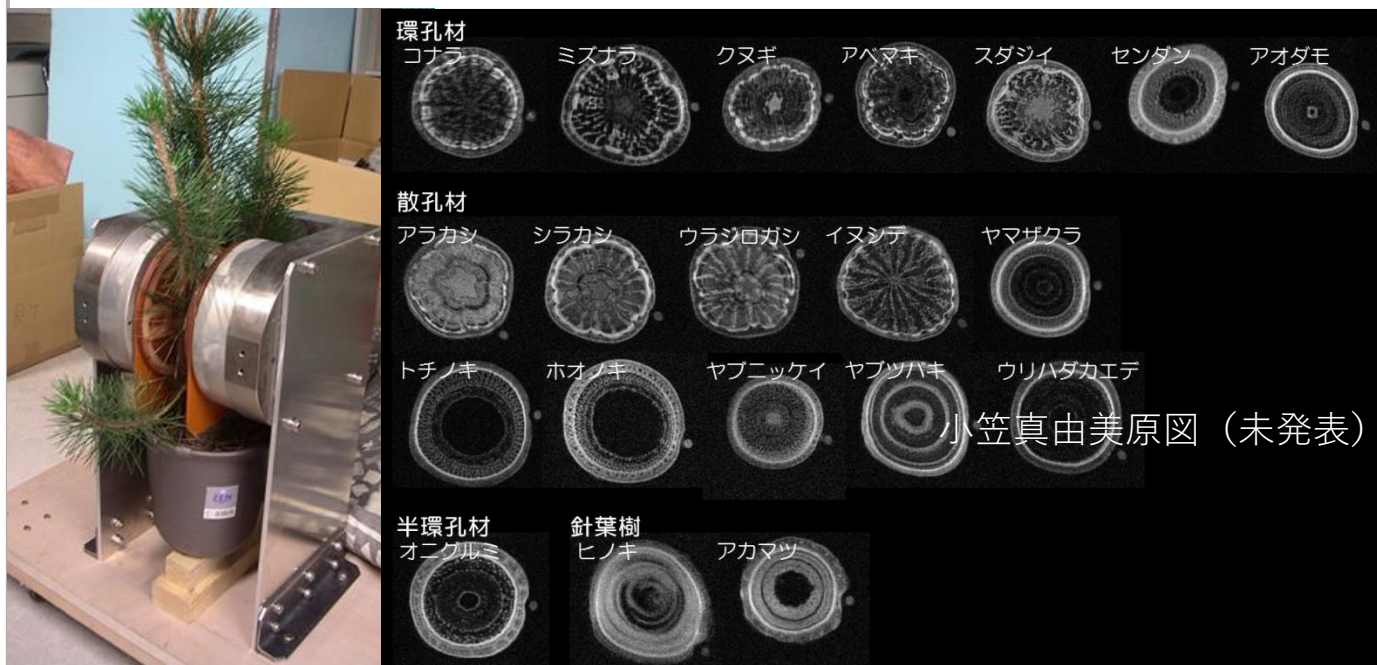


森林および樹木の健全性の維持を目的として、樹木の生理、森林の生態、樹木に寄生する微生物や樹木と共生する微生物に関する研究を行っています。



当研究室が保有する世界唯一の樹木用コンパクトMRI（写真上左）を用いて、樹幹の通水組織の多様性（写真上右）と機能、乾燥ストレスや病原の感染による通水障害のメカニズムについて研究しています。

天然林の樹木枯死メカニズムの解明（写真下左：亜高山帯林の「縞枯れ現象」）や、都市林の保全に関する研究、樹木医の診断・治療技術に関する研究（写真下右：天然記念物「影向の松」）も行っています。